

2024年度地域団体商標等を活用したブランディング支援事業

成果発表会



播
州
織

地域ブランドの新たな可能性を探る1日



奈良酒

地域資源をブランドに変える！ ～未来を拓くブランディング戦略～

イベント概要

地域資源を活用したブランド発展に意欲的な2団体に対し、各課題に応じた戦略策定の支援を行いました。各団体の成果を発表するとともに、地域ブランドの価値向上や発展のヒントを共有します。

対象者

商工関係団体、事業協同組合、地域ブランドの形成や発展を図ろうとする団体・企業、自治体の皆様

主催：近畿経済産業局

お問合せはこちら

運営事務局(株式会社SASI内)

TEL:0798-55-7579

MAIL:info@sasi-d.com

ご応募はこちら

右記QRコードか下記URLから
必要事項を入力の上お申し込みください。

締切：2025年2月21日(金)

<https://www.kansai-branding.go.jp/>

日時 2025 2.26 WED
13:30 - 16:00

場所 ホテルマイステイズ
新大阪コンファレンスセンター

大阪府大阪市淀川区西中島6-2-19 4階中会議室
地下鉄御堂筋線「新大阪」駅7番出口より徒歩5分

現地参加(40名限定) / オンライン同時開催
参加費：無料(要事前申込)

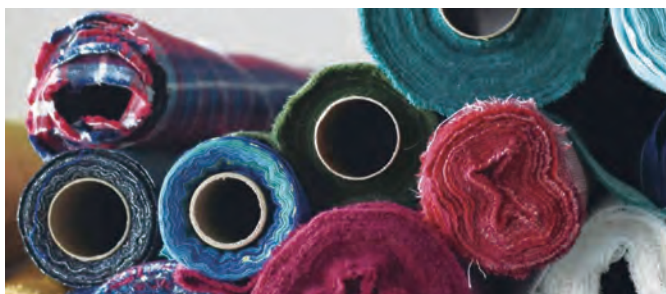


事業趣旨

近畿に存在する地域資源（農林水産品、産地の技術、観光地等）には、ブランドとして広く知られているものもありますが、地域内できとどまっているものも数多く存在します。それらの地域資源を広く認知されるブランドとしていくため、地域団体商標や地理的表示等の活用とともに、組織力強化やブランドの価値を高める仕組みが重要です。

近畿経済産業局では、更なるブランド発展に意欲的な2団体を対象に、デザイン経営の手法を活用したディスカッション等を通じて、各地域ブランドの課題に応じた戦略策定を後押しする支援を行いました。

登壇団体のご紹介



西脇・多可「播州織」連携会議

播州織に関わる産業組合や商工会議所、地域行政が連携し、複数地域・複数ステークホルダー間でのブランディングや価値向上を目指す団体です。

特徴：播州織は、糸を染めてから生地を織る「先染め織物」が特徴で、表裏ともに発色が美しく、色落ちしにくいという強みを持つ地域産業です。



奈良県酒造組合

日本清酒発祥の地ともされる奈良で、地酒の魅力を発信し続けている酒造組合です。奈良流の酒造技術は全国に広まり、「三段仕込み」や「諸白造り」など、現代の日本酒製造の基礎になっているとされます。

特徴：奈良酒は、中世から伝わる伝統技術を活かしつつ、現代にふさわしい多種多様な酒造りを展開しています。

PROGRAM

13:30	●	開会
13:35	●	事業についての説明
13:50	●	事例発表① (西脇・多可「播州織」連携会議)
14:20	●	事例発表②(奈良県酒造組合)
14:50	●	休憩
15:00	●	クロストーク 「地域ブランドの未来を語る」 (事業発表者・支援者によるトークセッション)
15:50	●	閉会

講師のご紹介



株式会社ミーティング

代表取締役
クリエイティブストラテジスト

三村 恵三 氏

ブランディングの観点から、ウェブ、CM、映像など、コミュニケーションにおける最適な構築を考える

クリエイティブストラテジストとして様々な企業、自治体と多くのプロジェクトを推進する。経営戦略からクリエイティブまで一貫したブランディングの仕組みづくりに携わる機会が多く、新規事業開発のサポートでは、サービスやプロダクトなど、「モノ」や「コト」づくりにこだわらないアプローチで多数実装中。また、新規事業開発のワークショップを踏まえた講師活動や企業の新規事業チームへのコンサルティング、大学での講義なども定期的におこなっている。MBAホルダー/プロコーチ

支援者

(株)SASI 代表取締役 近藤 清人 氏 / 専門家 田中 裕一 氏

播州織支援リーダー 中町 勇輝 氏

奈良酒支援リーダー 古澤 敦貴 氏